

— 器食同源・美食の器 —

# 北大路魯山人

展

吉兆庵美術館コレクション



魯山人肖像 (写真提供: 平野雅章氏)

乾山風桶絵鉢

2011年10月1日[土]—11月28日[月]

【会期中無休】

■ 関連イベント 講演会「魯山人の作品と生涯」  
10月16日(日)14時～ 関洋平氏(吉兆庵美術館 主任学芸員)

R O S A N J I N

- 【開館時間】 9時30分～17時30分(入館は17時まで)
- 【入館料】 一般1,000円(4枚セット券3,000円)／大学生800円／  
高校生500円／中学生以下無料
- 【主催】 公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム、  
財団法人NHKサービスセンター
- 【特別協力】 吉兆庵美術館
- 【監修】 関洋平(吉兆庵美術館 主任学芸員)
- 【企画協力】 株式会社SOZOBUNKA.bis
- 【後援】 中日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送、伊勢新聞社、読売新聞社、  
日本経済新聞社、毎日新聞社、シー・ティー・ワイ、ケーブルネット鈴鹿

公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム  
  
〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6  
 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077  
<http://www.paramitamuseum.com>  
 E-mail=office@paramitamuseum.com

吉兆庵美術館  
コレクション

# 北大路魯山人

展

—器食同源・美食の器—



滯額「無尽蔵」

陶芸界にひときわ異彩を放つ巨匠北大路魯山人(1883~1959)は、天性の審美眼と独自の美意識を持ち、陶芸のみならず多彩な芸術分野にその才能を発揮しました。

魯山人は十代にして、まず書・篆刻の分野で名を上げ、当時の著名な画家達はこの魯山人に印章の制作を依頼したといひます。そして、書の依頼を通じて優れた美術愛好家たちと交流し、美に対する鑑識眼と美食への関心を深めました。そしてこれが後に魯山人を高級料亭「星岡茶寮」の経営へと向かわせ、自らの作る料理を盛り付ける器の制作へと繋がって行きました。

「うつわは料理のきもの」という魯山人は、四季折々の料理に合わせた器をつぎつぎに制作し、発表していきました。陶芸を専門的に修業したわけではない魯山人は、自ら作陶するだけでなく、生地を腕の立つ陶工に指示して作らせたものに手を加えたり、絵付けを施すことで独自の世界を表現しました。星岡窯と名付けられた彼の工房の開窯時には、荒川豊蔵も陶工として招かれています。

和菓子の老舗、宗家 源吉兆庵は早くから魯山人の作る器の優雅さと、和菓子のもつ芸術性の共通点に注目し、作品を蒐集してきました。今回は吉兆庵美術館の収蔵品から書画・陶芸・漆芸などの優品80余点を選び、展示します。



日月碗五人



色変立田川向付六人



織部風御心ざ鉢(扇鉢)



備前手桶火入



雲錦大鉢



織部マナ板皿

関連 展覧会	「川喜田家歴代コレクションと半泥子の芸術」 石水博物館	
	期間中、2館の入館セット券(通常1,500円)を1,000円にて販売します。 石水博物館：〒514-0821 津市垂水 3032-18 Tel. 059-227-5677	
次回 展覧会 予告	飛鳥園仏像写真展 —老舗写真館がとらえた大和路の仏たち— 2011年12月1日[木]—2012年2月28日[火] ※但し、年末年始は休館となります。	伊賀水指 銘「悠袋」

公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム  
paramitamuseum  
〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町 21-6  
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077  
http://www.paramitamuseum.com  
E-mail=office@paramitamuseum.com

■お車をご利用の場合＝東名阪四日市I.C.で降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5km。無料駐車場あり(普通車100台・大型バス駐車可)  
■電車をご利用の場合＝近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分「大羽根園駅」下車、西へ300m。  
■全館バリアフリー、車椅子常備  
MAPCODE 566359095

